

このコーナーでは、ボランティアなどの公益的な町民活動をしている人や団体を応援し、その「はじめの一歩」のきっかけになるような記事を掲載しています。



認知症サポーター養成講座 in ボランティア交流会のお知らせ

【日時】平成24年3月9日(金) 19:00~21:00

【場所】ボランティア・町民活動支援センター ふみらぼ

【内容】認知症サポーター養成講座と参加者の交流

☆認知症サポーターとは…

何か特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者として自分の出来る範囲で活動します。

受講者には、サポーターを示す「オレンジリング」が渡されます。

【定員】26名(定員になり次第締切)

【対象】ふみらぼに登録している団体・個人
ボランティア活動に興味関心のある方

【申込・問合せ】

ボランティア・町民活動支援センター
ふみらぼ TEL 933-1110

認知症サポーターについて詳しく知りたい方は、下記のHPをご覧ください。
<http://www.caravarmate.com/index.html>



協力力向上セミナーの報告



昨年、12月20日に福岡県NPO・ボランティアセンター主催の協力力向上セミナーがふみらぼにて開催されました。

今回は、すてきな協働の事例として、子育てネットワーク～みんな代表の川上利香さんと町子育て支援課の原田和幸主幹に「協働で進める子育て環境づくり」について話していただきました。

子育て支援センター『ゆうゆう』が出来るまでの経緯など、実際に宇美町で行っている取り組みについての具体的なお話で、大変参考になりました。

協働とは、町民・行政・企業などのひとつのセクションでは対応できない様々な問題について、異なる立場から情報や得意分野を持ち寄って、その問題を解決していこうとするものです。宇美町では、協力して進める関係のみならず、共に働く、共に行動する共働のまちづくりを目指しています。

協働のポイントは…

- 出会う
- 話そう
- 仲間をつくらう
- 話し合おう

そして、協働の相手とともに

- 課題やテーマを理解・共有しよう
- ともに出来ることを探ろう
- 常に身の丈を意識しよう



ボランコ星から

認知症サポーターキャラバンのマスコットは、



急がず、歩み着実に、
「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」への道のりを歩む。



オレンジリングの「オレンジ」は、
温かさを感じさせる色で、「手助けします」という意味をもつとされています。

全国には、3,091,354人(H23.12.31)の認知症サポーターがいます。



セミナーのアンケートより

「ボランティアと行政の協働が上手いくのも、人と人のつながりを大切にする事と感じました。」「具体例が何点もあり、さまざまな分野で協働が求められているのがわかりやすかった。」

編集後記：毎年ひとつずつ歳をとっていくことは誰もが同じです。自分が、親が、身近な人が高齢になった時、住み慣れた地域で安心して暮らせるといいですね。認知症サポーターになって、そのための一歩を始めましょう！ (K. E)